2025年度 児童館年間利用数

篠原児童館

2024年度							2025年度						
学年	学童登録人数		延長保育				学童登録人数		延長保育				
			17時～18時		18時～19時				17時～18時		18時～19時		
1年	27	名	1	名	7	名	22	名	8	名	5	名	
2年	31	名	4	名	6	名	31	名	6	名	2	名	
3年	29	名	4	名	3	名	29	名	6	名	4	名	
4年	24	名	2	名	4	名	22	名	3	名	1	名	
5年	12	名	0	名	2	名	18	名	1	名	1	名	
6年	5	名	0	名	2	名	7	名	2	名	2	名	
合計	128	名	11	名	24	名	129	名	26	名	15	名	

自由来館者数													
2024年度							2025年度						
幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計	幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計
	1～3	4～6						1～3	4～6				
3,819	703	170	58	5,869	0	10,619	4,793	570	307	23	5,354	0	11,047

学童年間利用数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年度	1,823	1,729	1,605	1,828	1,435	1,544	1,749	1,563	1,453	1,474	1,334	1,440	18,977
2025年度	1,665	1,653	1,529	1,672	1,283	1,449	1,510	1,172	1,348	1,161	961	1,174	16,577

ヒヤリハット　A（危険度重）B（危険度中）C（危険度軽）	事故報告（受診を要した件数）	要望・意見・苦情・報告
A:　0件　B:　7件　C:　18件	4 件	要望：　1件　意見：0　件　苦情：　0　件

方針	基本方法	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善（A)
サービスの質の向上		子育て支援の強化	・地域の子育て親子を対象に、つどいのひろばの内容充実とともに、自由遊びが安定してできる居場所を目指す ・登録制のすこやかクラブの実施を継続する	・1歳児を対象に1歳児の登録制の親子クラブを週1回実施 ・外部講師を招き乳幼児のリトミック教室と親子ピラティスを月1回実施 ・2歳児対象に登録制の親子クラブを1クラスで週1回実施	・1歳児対象の登録制プログラムでは毎月21組の親子が参加をした　・リトミックでは年間、237組905名の親子が参加をした　・2歳児対象のすこやかクラブでは年間18組の登録、357組757名の親子が参加をした・親子ピラティス年間158組337名の親子が参加をした	・育児休業が定着をしているが、保護者の興味のある事業を実施すると、神戸市内からでも参加をしてくれる方々もおり、児童館でより魅力的な事業を検討する。（親子英語教室、親子体操）
		児童育成の拡充	・児童館探索（4月）、エコクラブ活動（5月～3月）、七夕製作（7月）、スターフェスティバル（7月）、クリスマス会（12月）、工作（5.6.12.2月）、絵本の読み聞かせ（毎月1回）、陶芸教室（毎月1回）実施 ・毎月2回土曜日に小中高生対象に学習支援を実施 ・毎月1回土曜日にこども食堂を実施	・季節の応じた行事を、乳幼児から小中学生まで参加できるような内容検討した ・毎月の児童館だよりにはその月の実施内容を掲載し参加しやすいように募集をした ・毎月2回土曜日に実施した学習支援では外部のボランティアを活用し、内容を充実し、月1回のこども食堂を実施	・絵本の聞かせでは1年生を対象に、年間12回実施し,夏休みには全学童児を対象に本の読み聞かせを実施した。 ・毎月2回土曜日に実施した学習支援では小学1年生から中学3年生までの児童を対象に年間24回実施をし、小学生301名、中学生23名の参加があったボランティア66名の参加・こども食堂幼児107名、小学生533名中学生13名、大人210名合計863名の参加	・月2回の学習支援では小中高生を対象に実施をしましたが。高校生の利用者が数名ではあったが参加があったので、引き続き学習支援は実施する。・年間3回実施のみ一んなの食堂ではこどもを無料にしたことで利用しやすくなったので、引き続き実施をする。
地域との共生		地域との連携	・地域のボランティアの活用として学習支援やリトミックの講師として地域資源のボランティアを多く受け入れる。・託児ボランティアを対象に年間2回の児童館内研修を実施。	・子育てコミュニティーでは日曜日に児童館と地域福祉センターを開放して日曜開放を実施し、乳幼児から小学生の利用がある。 ・地域ボランティアとして、託児を中心としたボランティアの育成の為、年間2回の研修を実施した。	・子育てコミュニティー育成事業を年間10回実施し年間1,267名の参加があった （内訳） 大人・・475名 こども・・792名 合計・・1,267名	・子育てコミュニティー育成事業を年間10回実施すると大勢の参加があり、地域の子供たちも期待を持って参加をしていることは継続していきたい。実施内容についても児童の興味があるものを選ぶ。
		年間利用数	・ボランティア数（260名） ・なかよしひろば利用者数（4,500名） ・自由来館者利用者数（10,619名） ・陶芸利用者数（200名） ・学童利用者数（18,977名）	・ボランティア（280名） ・なかよしひろば利用者数　（4,793名） ・自由来館者利用者数（11,047名） ・陶芸利用者数（216名） ・学童利用者数（16,577名）	・ボランティア数は昨年より20名増 ・なかよしひろば数は昨年より293名増 ・自由来館者数は昨年より428名増 ・陶芸教室利用者数は昨年より16名増 ・学童利用者数は昨年より2,400名減	・近年は、育児休業が保護者の中では定着しており、午前の親子館事業の参加者を募る事が難しくなってきているがSNSの利用は有効であるため、告知や事業の様子などをこまめにインスタグラムなどに挙げて、利用者の居場所になる。